



布施だより

《 バレーボールを通じて ～学習の約束事の定着～ 》

9月保健体育科の追究です。単元は「バレーボール」、主眼は「ドリル練習やゲームを通して技能を高めてきた生徒が、ゲームの後にミーティングでポジションや役割、攻撃の仕方を話し合うことで、自分たちが考える意図的な攻撃ができるようになる。」学習課題は「ミーティングでポジションや役割、攻撃の仕方確認し、連携のある意図的な攻撃ができるようになる。」でした。

生徒諸君は、ランニング・グループごとのアップ体操・直上オーバーパス・直上アンダーパスと続いた後、授業者の先生から集合がかかります。1時間の追究の流れが示されます。

授業の約束事がきちんと浸透しています。この約束事を学習集団の中で自覚させ、体の自然な動きとして定着させているところに、本校の保健体育学習の共通の良さがあります。そこに、「グランドデザイン」に盛り込まれている大切な柱『基礎・基本の学力の定着～基本的学習習慣の確立～』が座ってきています。授業者は12時間の単元の中で、「三段攻撃」の楽しみを、生徒たちに味わわせたいと願っています。だから、ファーストタッチにワンバウンドレシーブやフォアコンタクトをルールに入れません。あくまでも「三段攻撃」の達成感を大切に考えての単元設定です。



ゲームが始まります。「三段攻撃」を意識して、セッターにパスを集めて、スパイクにつなげようとしています。が、これが難しい。意識はあるんだけど、つながらない。ここにジレンマが生まれます。「三段攻撃」の楽しさを追究すると同時に、基礎・基本のスキルを身につけること、・・・限られた時間の中で、生徒の必要感である生徒自身の考える課題から、授業者の願いである運動の工夫や指導の手立てに折り合いをつけていくことが技能教科の本質として求められていきます。

《 Honda エコマイレージチャレンジ 2014 》



「Honda エコマイレージチャレンジ 2014」が9月27・28日(土・日)に栃木県茂木町で開催されました。技術部諸君の大活躍を顧問の袖山賢治先生の臨場感たっぷりのレポートでどうぞ! ～ ～ ～

26日金曜日、銀河祭1日目の興奮もいまだ冷めやらぬまま、高級リムジンバスに乗り込む総勢22名の技術部員。いつもながら定刻10分前には全員が集合でき、抜群のチームワークで大会の幕は開かれた。今回エントリーした車両は3台。前回の鈴鹿大会で優勝を果たした Evolution、万全の調整で仕上げた Creation▽、これに今期から復活させ蘇った Challenger だ。

追われる立場で連覇を狙う Evolution の深井君には、出発前からかなりの緊張が見られるものの、気合いの入った良い顔をしている。そしてこの緊張感が醸し出す独特の空気が、チーム全体を程よい緊張感に包んでくれるのだ。一方 Creation▽の橋爪君は、今日もリラックスモード全開。車の仕上がりが早かった上に、加藤君を中心とした優秀なメカニックを多くそろえていることから、すでに目標はこのチームが持つ大会記録の更新を狙っている。2年生をコアとした Challenger は、その名の通り今大会もチャレンジャーであり続けている。外見は立派なエコカーに見えるものの、未調整の状態ですらサーキットに持ち込み、完走を目指すチャレンジャー魂は、怖いもの知らずの1&2年生チームだからこそなせる技なのか？そんなことを考えつつ、夜9時過ぎには定宿となっているホテルに到着し、1日めの日程を終えた。



9月27日(土)、2日目の朝は早い。午前4時過ぎには起床し、5時のサーキット到着を目指す。ゲートでのトラブルが若干あり、ピットへの到着がやや遅れたものの、ここからの準備は手慣れたもの。瞬く間に準備が進められ、30番のピット内に金工室の作業環境が再現されるまでに要した時間は、わずか30分程だった。

この日のレースは、公式の練習走行。ツインリング茂木サーキットを規定時間の39分20秒11以内に7周走り、燃費の少なさを競うレースとなっている。練習走行とはいえ、本番同様に記録が計測され、順位もつけられる。やや不安が残ったままの Challenger ではあったが、ドライバー丸山君の笑顔で車検員も思わず合格判定を下し、3台とも無事この日の出走が許可された。

グループIへのエントリーは30台。このクラスは中学生カテゴリーとなっているが、実際には首都圏の私立一貫校で大学生が車両を製作していたり、はたまた地域の事業所メンバーが技術協力していたりと本格的なマシンがそろっている。それでも完走できるのは半分程度という厳しいレースだ。それにもかかわらず、本校のように中学生が部費だけで車両の製作を行い、このレースに参加しているなど、あり得ないほど素晴らしい！まして結果を残すなど・・・と言いつつ並べてみたが、この日の練習走行の結果は、Evolution と Creation▽は完走、Challenger は3周でエンジントラブルでのリタイヤであった。

9月28日、日曜日。この日も起床は4時だが、チェックアウトを済ませ、集合を完了させたのは出発時間の10分前。「あたりまえのことがあたりまえにできる」集団こそがなせる技なのだ。レース結果にも期待が高まる瞬間である。6時20分のコース開放と同時にスタート前の練習走行を開始する篠ノ井西中チーム。一人ひとりが自分に与えられた役割を的確にこなし、本番のスタートに備えていく。すべてが順調に流れていく時間。

しかし、現実はそう甘くはない。一服するのつつかの間、こちらでは「後輪がまた引きずってます。」、あちらでは「アイドリングが落ちつきません。」とまさかの悲鳴。それもスタート前エリアへの移動10分前になってからの悲鳴である。一瞬リタイヤが頭をよぎったものの、こんな時にこそあたりまえのことをあた

りまえにこなすことが必要になる。焦らずにキャブレターをリセットし再設定。後輪はすべて分解し、ベアリングの入れ替えを、上田(かみだ)君のカミワザで完了。チーム力でスタート時刻に間に合わせる。こんなことができるのは、我々のチームを置いて他に無い。

9時15分のレース開始と同時に、西中の3台のマシンは次々とスタートしていった。前日完走している Evolution と Creation▽は、予定したラップで順調に周回を重ねる。一方、初参戦の Challenger はやや遅れ気味。しかし前日3周でリタイヤしているだけに、4周以上走ってくれたらこのマシンの新記録という軽い気持ちで全員が見守ることとした。



そんな Challenger も、5周め頃には他の2台に追いつき、西中の3台は併走する形でゴールに向かった。結果は悲願の3台完走。それぞれのマシンが記録を残すことができた。中でも Evolution は716.276Km/lで3位に入賞し、表彰台に上がることができた。なお、Creation▽は14位、Challenger は19位と、こちらもまた立派な成果を残せたことを報告させていただきたい。

ご声援いただいた技術部保護者会の皆さま、そして篠ノ井西中学校の生徒・保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

*追伸：技術部でエコカーに使用しているエンジンは、原付バイクのエンジンです。ご家庭の物置や納屋などにご不要のバイクが眠っていませんか、ぜひお譲りください。お願いいたします。

《 第1回長野上水内中学校連合音楽会 》

第1回長野上水内中学校連合音楽会壮行会が10月7日(火)、2学年諸君主催でありました。3学年諸君の『空も飛べるはず』『信じる』2曲を、顔を上げてじっくりと聴き入る1・2学年諸君。上級生と下級生がまっすぐに交流しあった瞬間です。銀河祭の頃より、いっそう熟成した歌声に心寄せたひと時でした。壮行会では3学年を代表して東方涼太郎さんが決意を語ってくれました。

今まで私たちは、西中学校の代表としてふさわしい発表をするために練習を重ねてきました。始めは声が小さかったり、話を聞いている時おしゃべりをしてしまったり、先生方に何度も叱られたり、注意を受けたりしました。銀河祭では、素晴らしい合唱ができたという自信があります。でも音楽会では、それを超えなければなりません。銀河祭後、永野先生・上原先生ご指導の下、だんだん声を出せるようになり、練習にも集中できるようになりました。

私たちは「背中で語る3年生になりたい」とずっと思っていました。なかなかそうなれていないのが現状です。だから音楽会では西中代表としてふさわしい発表をしてきます。そして1・2年生の目標とり、先生方の思いに応えるような発表をしていきたいと思えます。「背中で語れる3年生」を目指して、会場を圧倒するような発表をしたいです。

今日は、本当にありがとうございました。

長野上水内中学校連合音楽会



10日（金）ホクト文化ホールでは、西中学校自身の発表はもちろん、同年代の仲間の合唱やパフォーマンスに心打たれ、多くの収穫を得た3学年諸君でした。

音楽科の永野先生・上原先生から3学年諸君の「合唱にかけた思い」への返礼のメッセージです。

すばらしい合唱をありがとうございました。

朝練習の15分を積み重ねたこと。

「こうしよう！」と呼び掛けると、即歌声に反応があったこと。

何より歌うこと。

そのために、のめり込む姿を見ることができたこと。

合唱に心を感じることもできたこと。

ありがとう

<永野先生より>

大ホールのステージで歌った気持ちはどうでしたか？きっと、と～ってもいい気分だったことでしょう。一生懸命に練習した分だけ、感動を味わえたことと思います。ステージの袖でみなさんの演奏を聴かせてもらいました。堂々とした姿、充実した歌声、素晴らしかったですよ。

「信じる」という曲、私は大好きになりました。

これから卒業まで、辛いことや苦しいこともあるでしょう。でも努力した分だけ、いいことがあるという事を信じて、頑張ってくださいね。

<上原先生より>

《 秋のスポーツ活動に収穫の時です！ 》

<ソフトボール部>

東北信ブロック大会 第2位 県大会出場へ

《 お知らせ 》

美術科担当の小口剛先生がご家族の介護のため、しばらくの間、お休みをいただくことになりました。お休みの間の美術の先生は武井礼子先生です。来週月曜日からの勤務になります。生徒には月曜日の集会で紹介いたします。2学年所属となり、生徒の指導にあたってまいります。また美術部の活動は同じ美術科の田村先生が担当します。

ご心配をお掛けいたしますが、ご理解の程、よろしく願いいたします。ご不明なことは教頭へご相談ください。重ねてお願いいたします。